

Vol. 12 H24.9.10・11

北アルプス大規模土砂災害対策連携会議

TATEYAMA SABO



北アルプス地域における大規模土砂災害対策に関する関係者から構成される連携会議を開催

- ・開催日時：2012年9月10日 会議（とやま自遊館）
11日 現地視察（立山カルデラ）
- ・出席者：木村岐阜大学教授、平松信州大学教授、藤田京都大学教授、堤京都大学准教授
富山県、長野県、岐阜県、立山町、上市町、小谷村、富山市、黒部市、環境省、
（独）土木研究所、国土交通省北陸地方整備局（河川部、松本砂防事務所、
黒部河川事務所、立山砂防事務所、神通川水系砂防事務所）
- ・講演：京都大学防災研究所 教授 藤田 正治氏
『平成23年度紀伊半島における大規模土砂災害について』
- ・検討会：『関係機関における大規模土砂災害対策への取り組み』



藤田教授による講演



白岩砂防堰堤(岩盤補強対策)



立山温泉跡地

設立趣旨：北アルプス地域は、脆弱な地質構造をもつ急峻な山地で構成され、平成22年に公表された深層崩壊推定頻度マップによれば、北アルプスには「特に高い地域」が集中しており、大規模土砂災害発生時の初動対応を考えた場合には、刻々と変化する現象を正確に分析し、臨機の対応方策を見いだすことが重要であり、速やかで広域的な関係者の連携、とりわけ学識経験者と行政の連携が不可欠。